



CAIスクールREPORT

Gakken

学研CAIスクール 加古川校 TEL. 079-454-1447

あけましておめでとうございます。昨年^{さくねん}は新型^{しんがた}コロナウイルス^{かんせんかくだい}感染^{えい}拡大^{えい}の影響^{えい}で、これまでに体験^{たいけん}したことのないような年になりました。早く^{はや}収束^{しゅうそく}して自由^{じゆう}に行動^{こうどう}できるようになるといいですね。今年^{ことし}もよろしくお願^{ねが}いいたします。

(イラスト yoshi/PIXTA)


 だれでも
分かる

教育情報 & ニュース



(写真 masa/PIXTA)

し ねん が じょう れきし 知ってる？ 年賀状の歴史

日本^{にっぽん}には、正月^{しょうがつ}に「年始^{ねんし}回り」という年始^{ねんし}に親類^{しんるい}やお世話^{せわ}になった人^{ひと}の家^{いえ}へ挨拶^{あいさつ}をしに行く^い習慣^{しゅうかん}があり、この習慣^{しゅうかん}を簡略^{かんりやく}化したものが年賀状^{ねんがじょう}のルーツと言われています。年賀状^{ねんがじょう}を出すのが一般的^{いっぱんてき}になったのは、明治4年^{めいじ ねん} (1871年) の郵便制度^{ゆうびんせいど}開始^{かいし}後の明治6年^{めいじ ねん} (1873年) 郵便^{ゆうびん}はがきの発行^{はっこう}からです。現在^{げんざい}のような年末^{ねんまつ}の内に年賀状^{ねんがじょう}を受け入れ、元日^{げんじつ}に配達^{はいたつ}する年賀郵便^{ねんがゆうびん}特別^{とくべつ}取扱い^{とりあつかい}が導入^{どうにゅう}されたのは明治32年^{めいじ ねん} (1899年) で、徐々に全国^{ぜんこく}に広が^{ひろ}っていきました。そして、お年玉^{ねんがたま}付き年賀^{ねんが}はがきが発行^{はっこう}されたのは昭和24年^{しやうわ ねん} (1949年) のことで、この時の特賞^{とくしょう}はミシンでした。年賀状^{ねんがじょう}のピークは平成16年^{へいせい ねん} (2004年) の44億5000万枚^{まんまい}でしたが、今年^{ことし}の年賀状^{ねんがじょう}の発行枚数^{はっこうまいすう}は19億4198万枚^{まんまい}まで減^へっています。

コロナ禍^かでなかなか人^{ひと}に会^あえない日^ひが続^{つづ}いていますが、年賀状^{ねんがじょう}で元気^{げんき}な姿^{すがた}を伝^{つた}えるのもいいかもしれませんね。

う ちゅう れきし 宇宙の歴史がわかる？ はやぶさ2カプセル帰還

小惑星^{しょうわくせい}探査機^{たんさき}「はやぶさ2」から切り離^{きりはな}されたカプセルが、無事^{ぶじ}にオーストラリアのウーメラ砂漠^{さばく}に着地^{ちやくち}し、地球^{ちきゅう}に帰還^{きくわん}しました。カプセルには小惑星^{しょうわくせい}リュウグウからの試料^{しりょう}が収められている小箱^{こばこ}が入っています。この中には岩石^{がんせき}のかげらなど、当初^{とうしよ}の目標^{もくひよう}を上回^{うわまわ}る約5.4g^{やう}の試料^{しりょう}があったと発表^{はっぴよう}されました。

今回の期間^{こんかい}は、2010年^{ねん}に世界^{せかい}で初めて^{はじ}小惑星^{しょうわくせい}からの試料^{しりょう}の持ち帰^{もちかえ}りに成功^{せいこう}した初代^{しよだい}の「はやぶさ」に続^{つづ}く快挙^{かいきよ}です。はやぶさ2は2014年^{ねん}に打ち上げられ、惑星^{わくせい}と地球^{ちきゅう}を往復^{おうふく}した総飛行距離^{そうひこうきょり}は6年間^{ねんかん}で52.4億km^{おく}となりました。

JAXAでは、今回^{こんかい}入手^{にゅうしゅ}した試料^{しりょう}を分析^{ぶんせき}して「太陽系^{たいようけい}の起源^{きげん}」と「地球^{ちきゅう}の海^{うみ}や生命^{せいめい}の材料^{ざいりよう}」の解析^{かいせき}を目指^{めざ}します。そして、はやぶさ2はカプセルを切り離^{きりはな}したあと、約11年^{やく ねん}かけて、別の小惑星^{しょうわくせい}「1998KY26」へ向^むかって飛行^{ひこうちゅう}中です。

ご りん パリ五輪でブレイクダンス採用

2020年^{ねんとうきよう}東京^{ごりん}オリンピック (五輪^{ごりん}) は今年^{ことし}2021年^{ねん}に延期^{えんき}となりましたが、次の2024年^{ねん}夏季^{かき}オリンピックはフランス・パリで行^{おこな}われます。そのパリ五輪^{ごりん}で争^{きよう}われる競技^{ぎしゆもく}種目^{しゆめい}が決まり、追加^{つい加}競技^{ぎしゆもく}として、初めて^{はじ}ブレイクダンスが採用^{さいよう}されました。

そのほか、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィンも2大会^{たいかい}連続^{れんぞく}で選ば^{えら}れましたが、東京^{とうきよう}オリンピックで追加^{つい加}された野球^{やきゅう}・ソフトボールと空手^{からて}は残念ながら除外^{ぞうげん}されました。

パリ五輪^{ごりん}は大会規模^{たいかいきぼ}を押さえるため、32競技^{ぎしゆもく}種目^{しゆめい}と東京^{とうきよう}五輪^{ごりん}よりも少なくなり、出場^{しゅつじやう}枠^{わく}の人数^{にんずう}も減らし1万500人^{まん にん}となりました。

ブレイクダンスの採用^{さいよう}は、若者^{わかももの}重視^{じゆうし}の姿勢^{しせい}の表^{あらわ}れと見^みられています。

未来のために考えよう

エスディーゼーゼス

SDGs について知ろう



What's SDGs?

近頃、「SDGs」という言葉をよく聞きますか？ 今、全世界の大きな課題として「SDGs」が注目されています。みなさんもSDGsを通して、未来のために自分ができることを考えてみませんか？ (イラスト yoshi/PIXTA)

「SDGs」って何？

SDGsはSustainable Development Goalsの略で、「持続可能でよりよい未来を作るための世界共通の目標」のことです。2015年の国連サミットで、193の国連加盟国が全会一致で採択し、取り組むことになりました。

気候変動による自然災害や難民問題など、今世界では様々な問題が起きています。グローバル社会と言われる今、1つの国だけでは解決できない問題がたくさんあり、世界の国々で協力して解決する必要があります。

SDGsは、様々な問題解決のために、全世界で取り組むべき課題・目標として大変重要なのです。

SDGs でかかっている目標とは？

SDGsの前には、MDGs (Millennium Development Goals) という発展途上国の課題解決を目的とした開発目標がありましたが、これは先進国が支援するという視点で作られた目標でした。

SDGsは「先進国も途上国も、すべての国が一丸となって問題を解決しよう」という考えで作られた目標です。また、「だれひとり取り残さない」という姿勢も盛り込まれています。国、年齢、性別、人種などに関わらず、すべての人が忘れられることのないように目標を達成しようという意味です。

SDGsは、2030年までに未来を変えるための17の目標を掲げています。身近な課題を知って、今、自分たちができることは何か考えてみてはどうでしょうか。

私たちが大人になったときに、どんな社会にしたいか想像して、今できることからやってみよう。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

